

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山市クリーンセンター環境保全対策協議会事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	クリーンセンター環境保全対策協議会委員	意図	クリーンセンターの環境保全対策を監視し、必要があれば改善措置等を市長に提言する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が実施する大気環境測定結果の承認</li> <li>・住民から協議会に提出された苦情及び要望に関する事項の検討</li> <li>・その他住民の健康保持及び生活環境の保全に関する必要な事項</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	クリーンセンター建設に伴い排出ガス等の監視を行い、必要があれば改善措置等を市長に提言するため環境保全対策協議会が設置された。これまで環境基準を超える値は出ていないが、今後も監視を継続する。また平成23年の原発事故以来実施してきた周辺自治会及びクリーンセンター周辺の放射線量測定は、指定廃棄物をボックスカルバートに一時保管とともに、事故から6年が経過し、放射線量も減衰してきたことから中止することを協議会に提案し了承			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	協議会開催回数	2	2	2	
②	協議会出席委員数	19	20	19	人	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	・協議会委員の構成は、学識経験者3名、廃棄物対策審議会の代表者1名、周辺自治会の代表者等9名の計13名 ・任期 2年 ・平成28年7月28日委嘱 会議開催日（2回） ・平成29年7月25日 ・平成30年1月30日
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,302,200	2,102,700	2,056,800	
事業費(b)(円)	43,200	43,200	43,200	
うち一般財源	43,200	43,200	43,200	
職員給与費(c)(円)	2,259,000	2,059,500	2,013,600	
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	協議会でクリーンセンターに関する理解を深めてもらうとともに、指定廃棄物の一時保管状況を理解してもらう。	③取組の課題	環境測定結果や焼却灰の状況を引き続き報告し、ごみ焼却施設に関する理解を深めてもらう。
②今年度(H29)に実施した取組	大気質等の測定結果の他、指定廃棄物の一時保管庫について報告した。また、周辺自治会等の空間放射線量測定を廃止し、一時保管庫周辺の測定を年4回とした。	④今後(H30以降)の改善計画	常に市の情報を提供し、協議会にごみ焼却施設に関する理解を深めてもらう。